

第24回名古屋ビジネスセミナーを開催

● 大学院経済学研究科

大学院経済学研究科附属国際経済政策研究センターは、2017年1月23日（月）ウインクあいち会議室において第24回名古屋ビジネスセミナーを開催しました。



大盛況の会場にて講演中の貞井工場長（スクリーン右）

同セミナーは名古屋大学 経済学部同窓会のキタン会と共同で開催しており、今回は三菱重工業株式会社 名古屋航空宇宙システム製作所の貞井俊介工場長を講師としてお迎えしました。

同センターは大学院経済学研究科との密接な協力を通して研究成果を広く社会に還元することを目指しています。今回は「我が国航空宇宙産業の現状と展望」と題し、セミナーを開催しました。同セミナーでは定員100名を大幅に上回る、約200名のお申し込みがありました。

野口研究科長による開会あいさつに続き、ユニフォームに身を包んだ貞井工場長の講演が始まりました。テストパイロットの役割は設計者や製造者の会話を通訳し、飛行機という患者の抱える問題の解決に貢献することである、という印象的な冒頭に始まり、零戦の話から今日の日本航空機産業の現状に至るまで、図解を交えて生きいきと話されていました。その様子に来場者は終始集中した様子で聴き入っていました。MRJ（Mitsubishi Regional Jet）と零戦の設計方法の比較を通して航空機開発の今を明らかにされており、どの分野の来場者にもわかりやすい内容となっていました。

同センターは今後も多方面の方々の要請を汲みながら、現代を捉えたテーマの下で同セミナーを開催していきたいと考えています。